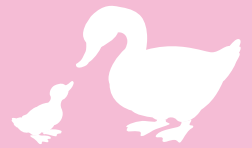




特集 1

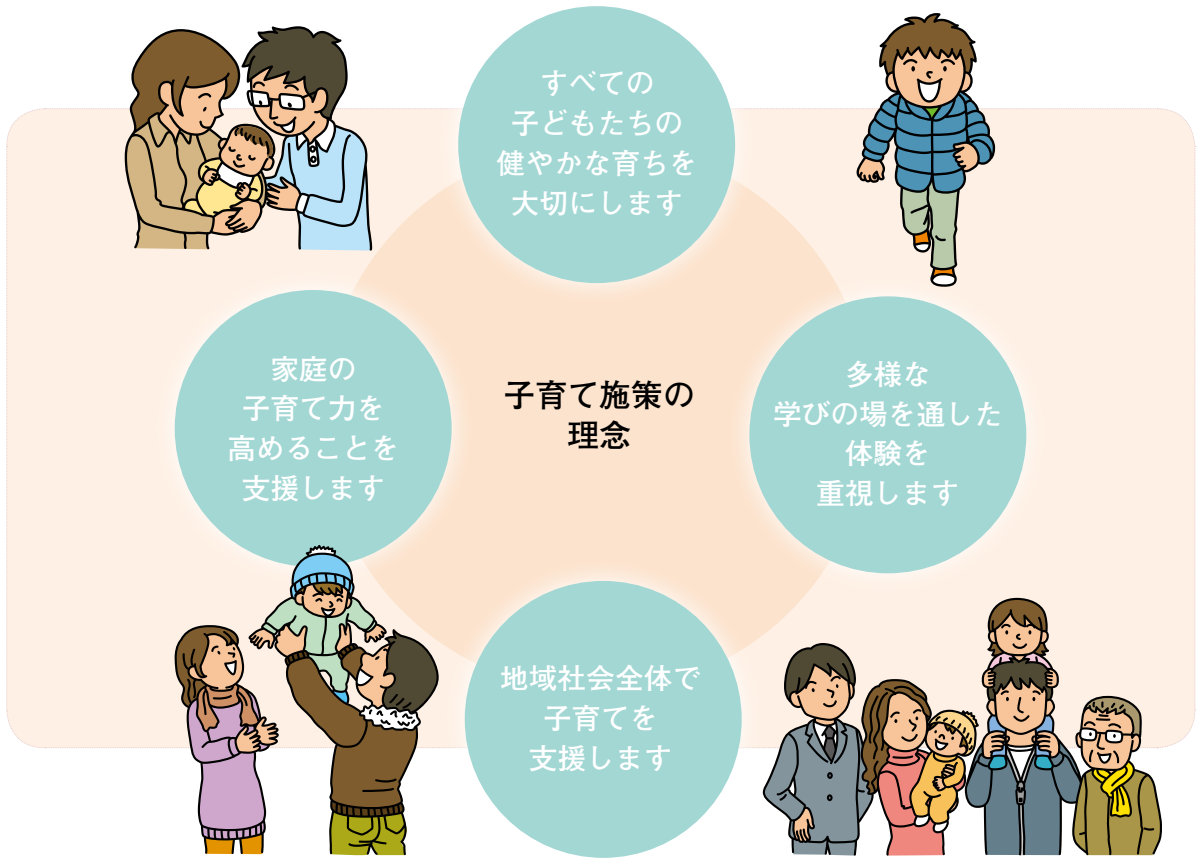
ご存知ですか？ 武蔵野市の 子育て支援



「子どもたちに健やかに育てほしい」というのは共通の願いです。
武蔵野市では、行政やNPO、地域の人々などがそれぞれの特長を生かしながら、
子育て家庭への支援を展開し、さまざまな子育てニーズに対応しています。
武蔵野市の未来を担う子どもたちを地域全体で育てる取り組みをご紹介します。

時代の変化に応じた 子育て支援

核家族化や近隣関係の希薄化が進む今、
子育ての施策も積極的に見直さなければなりません。
市では平成22年度から26年度を計画期間とする「第三次子どもプラン武蔵野」を策定し、
子育て家庭に対する支援の充実を図っています。



第三次子どもプランではまず、子どもたちの「生きる力」「育つ力」をより伸ばすことの大切さを挙げています。子どもの育ちを最大限尊重したうえで、基本となるのは、やはり家庭です。子どもたちは家庭で愛情を受けることで、人に対する基本的な信頼感や倫理観、自立心を身につけます。市では、安心して子育てができ、そして家族が触れ合って、親としての意識が育まれるような取り組みを推進しています。

一方、子育ての基本は家庭にありますが、子どもたちが健やかに育つためには、地域全体で子育て家庭を見守り、支えていくことも必要です。行政、地域、NPO、そして民間企業などが協力し合いながら、子どもたちを健全に育成するための施策を行っています。

都会に暮らす子どもたちには、家族や学校以外の多様な学びの場も必要です。自然との触れ合いによって生命の大切さを知り、さまざまな考えや文化を理解するための体験の場を提供しています。

市ではこうした考えに立ちながら、時代の変化に対応し、子どもたちの健やかな育ちを支援しています。

ご存知ですか？
武蔵野市の子育て支援



むさしの子育てQ&A こんなサービス知っていますか？

Q1

赤ちゃんが生まれます。お祝いのプレゼントや医療費のサポートがあると聞いたのですが…。

妊娠 や出産に際しては、妊婦健康診査受診費用の一部助成や出産一時金の支給などが受けられます。また、誕生したすべての赤ちゃんに誕生記念樹や市内産野菜の引換券をプレゼント。出産された家庭を保健師や助産師が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」のときに申込書や引換券をお渡しします。乳幼児や小・中学生の子どもたちには、子ども手当や医療費助成制度がありますので、申請手続きをしてください。



野菜の引き換えに来た親子



もぐもぐ教室

A

A

子育て で少しでも不安になったり、疑問に思うことがあれば、市の「子ども家庭支援センター」に連絡してください（**4ページ**）。電話は午前8時30分から午後10時まで受け付けています。市役所での来所相談、お伺いしての訪問相談なども行っています。また、保健センターでは、「もぐもぐ教室」「かみかみ教室」といった乳児を育てる保護者向けの教室や乳児から6歳までの育児相談も行っています。

Q2

育児をしていると、分からないことも多いし、イライラすることもある。誰か相談にのってくれないかなあ…。

Q3

家の外で子どもを自由に遊ばせたいし、同じ年頃の子を持つ親の皆さんとも情報交換したいのですが…。

市で は「親子ひろば」事業を行っており、市内各地のコミセンや公園などで、親子一緒に遊ぶ中で、親同士も交流できる場を提供しています（**5ページ**）。また、武蔵野市子ども協会が運営する「0123吉祥寺・はらっぱ」や「おもちゃのぐるりん」は、0～3歳の子どもたち（ぐるりんは未就学児）とその保護者が、いつでも来所できる子育て支援の施設です（**6ページ**）。



おもちゃのぐるりん

A

A

吉祥 寺北町にある「こどもテンミリオンハウスあおば」では、お子さんをお預かりする一時保育を行っています。子育て経験の豊富なスタッフが保育してくれるから安心です。土・日曜も利用できます。自宅での保育が必要な場合は、保育サービスの「ひまわりママ」をご利用ください。病児保育にも対応しています（**7ページ**）。また、総合体育館での一時保育サービスや、市内各所での託児付きモーニングコンサートも行っています。

Q4

幼稚園に入る前の子どもを育てています。ほんの数時間でよいから、友だちとランチなど気分転換をしたいのですが…。



モーニングコンサート



子育て支援情報誌「すくすく」

市の事業や施設、医療・福祉など多岐にわたる子育て情報総合カタログ。子ども家庭課、保健センター、各市政センター・コミセン・0123施設などで配布しています。



ホームページでも子育て情報を総合化

出産前からの子育て支援、母子健康医療、育児、地域との連携、防犯や安全などをまとめた子育て総合情報ページ。市のホームページからリンクされています。

子ども家庭支援センターができました



市役所3階にある
子ども家庭支援センター



キッズコーナーも併設

子どもを守り、子育てを応援する機関として、「子ども家庭支援センター」が平成23年4月よりスタートしました。「子ども家庭支援」「ひとり親支援」「地域子育て支援」の3つの担当が子育て家庭を多面的にサポートします。センターは市役所3階の子ども家庭課内にあり、保健師や保育士、幼稚園教諭などの経験豊富な相談員が子育てと家庭に関する相談に応じています。相談は、窓口、自宅訪問、電話のいずれでも対応ができます。また、電話相談は夜10時まで受け付けています。子どもに関する相談があればお気軽にご利用ください。

子ども家庭支援センターの取り組み

子ども家庭支援

0歳から18歳未満の子育てに関する相談および子ども本人からの相談に応じています。また、産前・産後に家事や育児が困難な家庭にヘルパーを派遣する事業や、保護者が病気などの理由で一時的に養育できない場合に短期間児童養護施設で保育する「子育てショートステイ」も実施しています。

【子育て総合相談・虐待通報】

☎ 0422-55-9002

☎ 0120-839-002

(フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません)

ひとり親支援

20歳未満の子どもを育てているひとり親を支援しています。家庭内の悩みについて、母子自立支援員(兼婦人相談員)が相談を受けています。このほか、「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」や「女性福祉資金貸付・母子福祉資金貸付」なども行っています。

【ひとり親・女性相談】

☎ 0422-60-1850

地域子育て支援

子どもたちが体を使って遊んだり、保護者同士が交流する機会を提供する「親子ひろば」事業を、市内のコミセン、公園、ホールなどで開催しています。また、多胎児を子育てしている家庭を対象とした「ふたごちゃんみつごちゃんのつどい」も開催しています。

【ひろば・子育て支援情報】

☎ 0422-60-1239



子ども家庭支援センターをはじめ、親子で過ごす場、子育てに関するサービスや施設などについて紹介する、「子ども家庭支援センターだより」を発行しています。同センターのほか、市政センターやコミュニティーセンター、図書館などで配布。市ホームページにも掲載しています。



公園親子
ひろば



外でもいっしょ遊び

親子ひろば事業

子ども家庭支援センターが行う「親子ひろば」は、親子が気軽に立ち寄って、遊んだり、友達としゃべりができる場所と機会を提供する事業です。

地域のコミュニティセンターで開催される「コミセン親子ひろば」は、悩みの相談や情報交換など、子育て支援スタッフとお

しゃべりをしながら楽しい時間を過ごせます。市内11カ所のコミセンで月に1回ずつ開かれています。その日程以外でも自由に遊べる「ひろば」を開催しているコミセンもあります。

むさしの市民公園（緑町2-2）と吉祥寺西公園（吉祥寺本町3-7）で年に7回開かれていた「公園親子ひろば」では、遊具や砂場で遊んだり、走り回ったりしながら、野外でのびのびと遊ぶことが

できます。

平成23年度は、屋内の広いスペースで体をつかって思い切り遊べる「ホール親子ひろば」がスタートし、6月と9月に武蔵野スイングホール（境2-14-1）で開催されました。

ホール
親子ひろば



広いホールでのびのび

コミセン
親子ひろば



育児情報を交換

ふたごちゃん・
みつごちゃんの
つどい

ふたごやみつごの子どもを育てる親には、当事者たちにしか分からない悩みや苦労があります。この

つどいは、広い会場で親子一緒に遊ぶ中で、親同士がおしゃべりをして交流や情報交換をするための場です。すでに子育てを終えた先輩ママからアドバイスを聞いたり、出産予定のプレママも参加できます。平成23年度は6回にわたり開催されます。



次回開催：平成24年2月29日（水） 午前10時～11時30分／市役所811会議室（緑町2-2-28）／予約不要、時間内出入自由

のびのびとした遊びと交流で 子どもたちを育みます

0123施設

「0123」施設は、0歳から3歳の子どもと保護者が自由に來所できる施設です。

0123 吉祥寺（吉祥寺東町）と0123はらっぱ（八幡町）の2施設があり、子どもたちがのびのびと遊べる場を提供しています。ここでは、年齢の違う子どもたちが交流し、刺激し合いながら遊べます。また、同じ世代の子どもを持つ親同士の交流も支援しています。育児に関する情報の交換や提供の場を備えるとともに、育児の相談などにも対応します。

同じ年齢の親たちが交流できる「年齢別ひろば」も行っています。保育士や幼稚園教諭などの資格を持つ専門スタッフが親子を見守りながら、子育てをサポートしていきます。

おもちゃのぐるりん

0歳から就学前までの乳幼児と保護者が自由に來所して遊べる施設です。館内にはさまざまなおもちゃが用意されており、子どもたちの発育に必要な刺激を体験することができます。毎週水曜日にはおもちゃの貸し出しも行っています。おもちゃの手づくり講座も人気。「こども発達支援室ウィズ」と「地域療育相談室ハビット」とも隣接しているので子育てに関する相談にも対応します。



緑町2-6-8 武蔵野緑町2丁目
第3アパート8号棟1階 みどりのこども館内
☎0422-37-2016
午前10時～午後4時
日・月曜、祝日、年末年始は休館

0123 吉祥寺

吉祥寺東町2-29-12
☎0422-20-3210
午前9時～午後4時
日・月曜、祝日（5月5日を除く）、
年末年始は休館

0123 はらっぱ

八幡町1-3-24
☎0422-56-3210
午前9時～午後4時
金・土曜、祝日（5月5日を除く）、
年末年始は休館

毎日大勢の親子が
來館しています。
見て、聞いて、話して、
自分に合った子育てを
見つけてください。



0123 はらっぱ園長
小見山葉子さん



写真：0123はらっぱ



「公益財団法人 武蔵野市子ども協会」が運営

武蔵野市の子どもの育成活動を支援する機関として平成4年に設立され、平成22年に財団法人となりました。0123施設やおもちゃのぐるりんなどの子育て施設の管理運営を行い、平成23年4月からは千川保育園、北町保育園の運営を行っています。



気軽に利用できる 一時保育を行っています



こどもテンミリオンハウス
あおば

NPO法人「保育サービスひまわりママ」では、武蔵野市との協働事業として、「こどもテンミリオンハウスあおば」を運営しています。あおばでは、大きく3つのサービスを提供しています。
「あひる事業」は、保護者と就学前の子どもがゆつくりと過ご

一時保育を利用して
リフレッシュしてください。
きっと、子どもたちとの
より良い関係にも
つながりますよ。



施設長
平野幸子さん

せる場所を提供していただきます。目の届く場所です。子どもを遊ばせられるので、保護者同士のおしゃべりも気兼ねなくできます。

子どもを有料で一時保育する「ひまわり事業」も行っています。仕事や出産、冠婚葬祭などやむを得ない場合だけでなく、美容院に行ったり、友達に会うなど、ちょっとしたリフレッシュしたいときにもぜひご利用ください。

「はあと事業」では、育児に関する相談に無料で応じています。ゆつくり相談したいときは、「ひまわり事業」を利用して子どもを預けて、心行くまで話しましょう。あおばでは、相談者の状況に応じて、専門の機関も紹介しています。毎週火曜日と金曜日は、無料で来所できます。まずは遊びに行つて、あおばを体験してみましよう。

NPO法人保育サービスひまわりママ

「ひまわりママ」では、利用者の自宅での育児を行うサービスを有料で提供しています。保護者の集まりがあるときに、子どもたちを集団で保育してもらうことも可能です。料金も利用しやすく、1時間から365日対応しています。☎0422-32-3322 (<http://himawarimama.org/>)

こどもテンミリオンハウスあおば

吉祥寺北町2-16-11
☎0422-28-1883
午前9時～午後4時
水曜、祝日、年末年始は休館

子育てフェスティバルを開催

0歳から就学前の子どもと家族が楽しめるイベントです。10回目を迎える今年度は、11月5日に保健センターで、12日に武蔵野プレイスと吉祥寺南町コミュニティセンターで開催されました。それぞれの会場では、子育て支援情報を紹介するパネルの展示、赤ちゃんと一緒に遊べるスペース、作って遊ぶ工作コーナー、保健や栄養のコーナーなどが設けられました。救急法の体験や保育園の給食を紹介など、それぞれの会場によって特色のある内容となりました。



家族でにぎわう
工作コーナー



子育て施設を
パネルで紹介